

「大砂川の森」整備作業

報告：高橋 優

大砂川は湖南市三雲にある野洲川に流れ込む河幅3mほどの天井川。旧東海道の上を流れており、日本最古の石造りのトンネルが大砂川の下に敷設されています。その近くの堤には樹齢750年とも言われる弘法杉がそびえ立ち、歴史豊かな川です。



大砂川



大沙(砂)川隧道



弘法杉



そんな大砂川沿いに滋賀会理事の安田さん所有の小さな森が広がっています。ここを子供たちが遊べて、学べる森にしようと、仲間が集まり整備活動が始まりました。

【第1回整備活動】2017年11月19日



まずは活動の広場を作る準備



除伐した枯れ木で焚き火



主旨に賛同した地元の方も多く参加され、子供連れの方も。滋賀会からは安田さんを含め4人参加。



枯れ枝の処理



小径の雑木を伐採焼却



大きな枯木はチェーンソウで



整備後

20名ほどの参加者で午前中の約2時間の作業で発生した伐採木や枝の山ができました。これは後日片付ける予定です。

頑張り過ぎず、楽しんでやろうよという安田さんの考えに大いに賛同して、わたし(報告者)も作業を楽しみました。



【第2回整備活動】2017年12月17日



参加者集合 安田さんの同級生や友達も聞きつけて新しく参加してくれています。安田さんの人柄でしょうか、活動の輪が広がってきました。今回滋賀会から会長、副会長、事務局長と3役そろい踏み。

参加する方々がそれぞれに必要な道具など調達したりして持ち寄り、整備活動が充実しています。



新兵器の一つ、焚き火台。中心メンバーの川中さんが持って来ていただきました。森の土壤への影響を抑えて枯木の焼却や暖を取ることができます。焼き芋も出来ました。



これも新アイテム。ツリーテント。アウトドア商品を扱っている知り合いが設置してくれました。子供たちが大喜びで遊んでいました。このツリーテントが今後も残っているのかは不明。宣伝するから置いておいて...

整備作業も順調



梶谷副会長 薪材作り



簡易基地のテント立て

毎月第3日曜日の午前中に整備作業を計画しています。参加していただける方歓迎です。(事務局)